J尺東日本ニュース





2018年 10月 15日 東日本旅客鉄道株式会社

山手線を起点に、個性的で心豊かな都市生活空間を創造します ~世界に誇れる沿線づくりの実現に向けたプロジェクト始動~

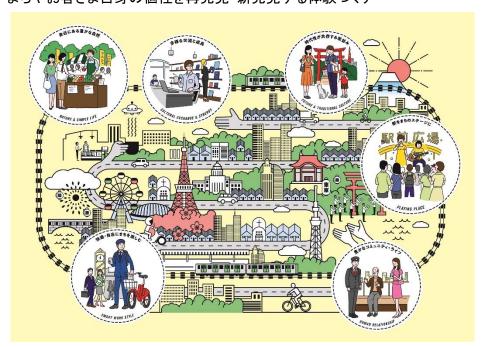
- JR 東日本では、グループ経営ビジョン「変革 2027」に掲げる「都市を快適に」の実現に向けて、「東京感動線/TOKYO MOVING ROUND」のコミュニケーションワードのもと、山手線を起点に、まちの個性を引き出し、まちや人が有機的につながる心豊かな都市生活空間を継続的に創り上げていくプロジェクトを始動します。
- その一環として、新大久保駅に、「食」に関わる人々が集い・交流することで、新しい食文化を創造することを目的とした交流拠点を開設します。
- また、昨年に引き続き、世界各国のデザイナーが、東京の個性豊かなまちの魅力を異文化視点で発掘する「TOKYO SEEDS PROJECT 2018」を開催します。

1. 本取組みの趣旨

山手線は、世界的にもユニークな、地上を走る都心の環状線であり、歴史的・文化的に多様な個性のまちとまち、人と人をつないでいます。当社では、移動を含めた日常生活の利便性を高めるサービスに加え、多様なまちや人の個性を引き出し、駅と駅、駅とまち、人とまち、人と人のつながりを創り出すことで、心豊かな都市生活空間を創造してまいります。

【3つのポイント】

- ① まちの個性が感じられる駅づくり
- ② まちを探索したくなるしかけづくり
- ③ まちやお客さま自身の個性を再発見・新発見する体験づくり



2. コミュニケーションワードとロゴ

山手線を起点に、「心豊かな都市生活空間」を創造していく取組みを継続的に発信するためのコミュニケーションワードとロゴを制作しました。

■コミュニケーションワードとロゴ それぞれに込めた思い

(1)コミュニケーションワード

『東京感動線/TOKYO MOVING ROUND』

コミュニケーションワードの"MOVING"は、まちの魅力や楽しさが詰まったワンダープレイスである「東京」で、快適な"移動"(MOVE)、心が動く"感動体験"(MOVED)、未来に向かって"進み続ける"(MOVING ON)といった価値や意志を、"ROUND"は、環の形状の山手線が創り出す、まちやひとのつながりや循環を表しています。

②コミュニケーションロゴ





東京感動線

ロゴデザインでは、環状に配置された動きのある文字で、環(山手線)からワクワクする体験が境界線なく広がっていくイメージを、画一的でない文字配列で、東京のまちの多様性と包摂性を表しています。

■クリエイター

ワード フューチャーテクスト有限会社 前田知巳氏 ロゴ 株式会社ダイアグラム 鈴木直之氏

3. 新大久保駅に「食」に関わる交流拠点を開設します

新大久保駅は、山手線沿線でも特に「国際的」、「豊かな食」という個性を有しています。駅に隣接するビル内に、シェアダイニングとコワーキングスペースを備えた「食」に関わる交流拠点を開設し、食を通じた新しいライフスタイルを提案します。

■施設概要

| 所在地 | 新大久保駅隣接 | |
|---------|---------------------------|--|
| 用途・規模など | 4階 コワーキングスペース 約300㎡ | |
| | ワークスペース、ミーティングスペース、ライブラリー | |
| | テストキッチン、食品保存スペース | |
| | 3階 シェアダイニング 約 180 m | |
| | キッチン、ダイニング、ショップ | |
| 開業 | 2020 年夏(予定) | |

■想定利用者と利用イメージ

| シェアダイニング | • | 可変性のあるスペースのため、アットホームなプライベートダイニングから、中規模なイベントまで開催可能です。 |
|----------|---|--|
| | • | 食材の生産者との交流、健康的な食べ方、異なる文化が融合したフュー |
| | | ジョン料理、最先端技術を活用した調理法、フードロスなどの社会課題解 決や若手シェフの応援など多様なテーマで、食事会や学びの場を設けま |
| | | 次や右ナシェノの心接など多様なナーマで、良事云や子のの場で取ります。 す。 |
| | | 今日、料理のジャンルや店舗の評価ではなく、ストーリー、テーマ、シェ |
| | | フ、交流の魅力から外食先を選ぶスタイルが広がり始めています。そのよ |
| | | うな背景を受け、店舗を持たなかったり、働く時間に制約のあるシェフが、 |
| | | 特定の時間帯だけ、この場を利用してレストランを開くシーンも想定してい |
| | | ます。 |

コワーキングスペース

- 多様な食のプロプレイヤー(※)が集うことを想定し、デスクワーク、ミーティングをはじめ、テストキッチンで即興的に調理や実験ができる環境を整備します。
- ・ ケータリングサービスの調理場としても使用可能です。
- ・ この場所で出会った異分野の方々の交流・共創から、食の研究開発が進み、新しい食文化が創発されることを目指しています。

※プロプレイヤー:シェフ、ライター、カメラマン、大学等の研究機関、起業家、生産者、 食・健康・医療に関わるベンチャー、調理機器メーカー・食品メーカー等

■イメージパース



(シェアダイニング)



(コワーキングスペース)

4. 「TOKYO SEEDS PROJECT 2018」の実施について

山手線沿線の個性豊かなまちで培かわれてきた文化の種を異文化視点で発掘するプロジェクトです。昨年に続き、今年も世界 5 大陸 6 つの国・地域より 6 名のデザイナーを招聘し、当社社員のコーディネートによりまちを探索。その経験を基に山手線や山手線沿線のまちについてのコミュニケーションデザインを提案します。このプログラムの活動とデザイナーからの提案を、国内外に向けたコミュニケーション、海外事業展開やインバウンド戦略などに活かしてまいります。

- ■開催期間 2018年10月17日(水)~10月25日(木)9日間
- ■プログラム概要 前半は、デザイナーが山手線沿線の魅力あるまちをめぐり、「東京」の魅力を体験していただきます。地域をよく知る駅で勤務する社員も参画し、その 駅界隈のまちを"深く"味わっていただく構成です。後半は、それらの魅力を 伝えるための"コミュニケーションデザイン"を製作し提案いただきます。
- ■参加デザイナー 【別紙1】をご参照ください (出身地 アイルランド、アメリカ、ウガンダ、オーストラリア、台湾、ブラジル)



- ■昨年の様子 【別紙2】をご参照ください
- ■共同企画・運営 一般社団法人つむぎや
 - ※ 本プログラムは、2015 年から独立行政法人国際交流基金と一般社団法人つむぎやが実施している「DOOR to ASIA(http://door-to.asia)」のコンセプトを基に生まれたプログラムです。

5. 今後の予定について

今後も山手線を起点に個性的で心豊かな都市空間を創造すべく、各種取組みを行ってまいります。詳細につきましては、決まり次第随時お知らせします。

TOKYO SEEDS PROJECT 2018 参加デザイナープロフィール 【別紙1】

フェルナンダ・ケイロース Fernanda Queiroz Brazil





ブラジルのサルヴァドー ル市出身で、アルゼンチ ンのブエノスアイレス大 学をグラフィックデザイ ン専門で卒業、現在は母 校で形態学を教えている。 色と写真が好きで、様々 なテクニックを駆使し、 全てのグラフィック、商 品またはプロジェクトに ユニークなグラフィック 表現とスタイルで表現し ている。

ピップ・ルー Pip Lu Taiwan





台湾の台北市を拠点の デザインスタジオ0.00 をフォーティ リウと共 同でスタート、設立時 からデザインとリソグ ラフ印刷を手掛けてい る。新しいプロジェク トやチャレンジによっ て、解決方法を見つけ 出し、デザインとリソ グラフ印刷の可能性を 発見することができる と信じている。

ニコール・ラヴェル Nicole Lavelle **USA**



EARTH HEALTH PEOPLE POWER

カリフォルニア在住のアーティ スト兼デザイナー。地域社会に 根ざしたプロジェクトベースの 研究実績では、多くのことを実 験しながら、地域の出版物を制 作し、社会参画の土台を築いて いる。Portland State Univeristyの デザインプログラムで時折教鞭 をとっている。現在はサンフラ ンシスコにある出身地の海沿い の小さな村で、アーティスト・ イン・レジデンスと自称して活 動している。

ウイング・ラウ Wing Lau Australia





ブリティッシュ香港で生ま れ育ち、現在オーストラリ アのシドニーに拠点にクリ エティブコンサルタント、 デザイナー、アートディレ クターとして活動している。 2008年から2012年の間に、 College of Fine Arts (現 UNSWArt&Design) で学術セ ミナーを開催した。現在は ISTD (International Society of Typographic) のメンバーでも ある。



カール・トゥミー Bathsheba Okwenje バスシェバ・オクウェンジェ Uganda



Karl Toomev





アイルランド出身、ロンドン 在住のデザイナー。クリエ ティブ分野において遊び心満 載のデザインや、社会問題を 考えるきっかけにつながるデ ザインに取り組んでいる。こ れまでNike、BBC、ユニクロや グーグルなどのグローバルブ ランドのクリエティブプロ ジェクトを牽引。また、プラ イベートでは書籍の自費出版 や、展示会の開催などに加え て、ロンドンとダブリンの大 学では講義も受け持っている。





情報と芸術分野を跨ぐ学際 的な研究者であり、アー ティストであり、デザイ ナー。16年間にわたって国 連と協働でHIV感染症対策、 人権および公衆衛生問題に おける政策提言や情報発信 に携わってきた。Radha Mayというアーティスト集 団のメンバー。Rhode Island School of Designで美 術学修士号を取得している。

昨年度実施の「TOKYO SEEDS PROJECT 2017」の様子

【別紙2】

期間:2017年11月16日(木)~11月24日(金)9日間

世界五大陸8か国よりデザイナーを招聘。当社社員とともに山手線沿線の多様な個性のまちを、東西南北に分けたエリアごとに深く味わったうえで、コミュニケーションデザインを提案頂きました。



【体験風景と提案されたコミュニケーションデザイン(一例)】

①日暮里の谷中銀座商店街散策

③鉄腕アトムの駅メロディがなる高田馬場





JR is valuable because it connects people.(Caleb Misclevitz)
「駅から自在にまちに出よう、人に出会おう」



PL>YAMANOTE





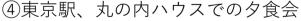


(Wing Lau)

②代々木駅、明治神宮参拝



Teach, Learn, Re-learn.
To pass again
through the heart.(Francisco Roca)
「経験をシェアしよう。
もう一度、文化の心に触れよう」









(Yuko Hirose)